

都市計画事業

JR阪和線 連続立体交差事業



●事業のあらましと経過

大阪市では、21世紀にふさわしい魅力ある国際都市の実現をめざして、都市基盤整備を推進しております。特に道路と鉄道との立体交差事業は、踏切をなくして交通渋滞や踏切事故の解消を図るとともに、地域分断の解消や高架下の有効利用などによって、まちづくりにも大きな役割を発揮する都市計画事業であります。

大阪市南部を縦断する阪和線につきましても、交差する幹線道路の踏切でしばしば交通渋滞が起っておりま。このような、踏切を除却するために、阿倍野区文の里4丁目付近から住吉区杉本3丁目付近の間約4.9kmの区間を高架化する連続立体交差事業が、昭和56年に都市計画決定され、昭和59年から用地買収を開始し、平成11年度後半から高架化工事に着手しました。

今後は、平成18年春の完成をめざして工事を進めていきます。

●事業の概要

- 事業名称 大阪都市計画都市高速鉄道 JR 阪和線連続立体交差事業
- 都市計画決定 昭和56年7月31日
- 事業認可 昭和58年3月28日
- 協定締結 昭和59年3月21日
- 事業区間 阿倍野区文の里4丁目～住吉区杉本3丁目
- 事業延長 4,860m
- 踏切廃止数 12ヶ所（南田辺北2番から杉本町北3番踏切まで）
- 交差幹線道路 都市計画道路
(木津川平野線、柴谷平野線、天王寺吾彦線、敦津長吉線、大和川北岸線)
- 駅施設
 - ・ホーム：相対式2面（南田辺駅、長居駅、我孫子町駅）
 - ・島式 2面（鶴ヶ丘駅）
 - ・エレベーター 各ホーム1基
 - ・エスカレーター 各ホーム2基

● 工事を行う順序

1

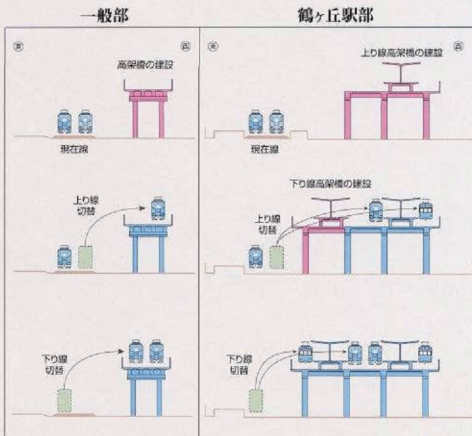
一般部での高架橋建設と鶴ヶ丘駅部での上り線高架橋建設を行います。

2

上り線を高架橋に切替るとともに、鶴ヶ丘駅部下り線高架橋建設を行います。

3

下り線を高架橋に切替えます。



● 事業の効果

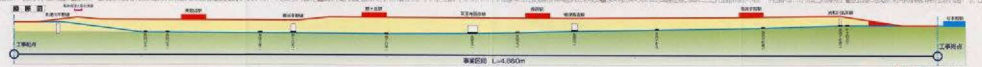
- 踏切がなくなり、交通渋滞や踏切事故が解消されます。
- 高架下空間の有効利用と駅周辺の整備によるまちづくりが促進されます。
- まちの分断が解消され、市街地の一体化が図れます。
- 側道整備により、地域の生活環境および利便性が向上します。



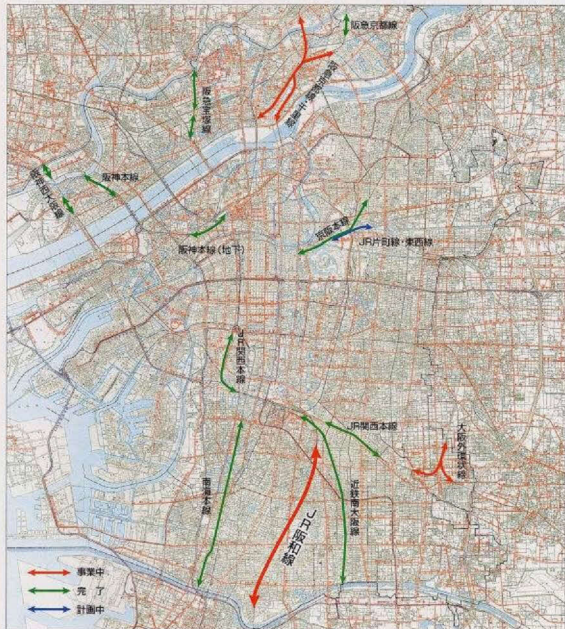
高架下利用の例



側道整備の例



大阪市内の主な立体交差事業箇所



●これらの立体交差事業は、**道路の整備**の一環として行われ、その財源は「ガソリン税・自動車重量税など」が当てられています。

■ JR 阪和線連続立体交差事業についてのお問い合わせ

大阪市建設局街路部立体交差課

所在地：大阪市住之江区南港北1丁目14番16号（大阪ワールドトレードセンタービル11階）

TEL：06-6615-6762

R40

06-6615-6762